

学校給食青果物地産地消関係者協議会（令和2年度第1回）の開催

佐世保市学校給食会は、教育委員会（学校・学校給食センター）と連携して地産地消を推進していますが、青果物については関係者協議会を設置しており、今般その会議を開催しました。

開催日時 令和2年6月23日（火）

場 所 佐世保市学校給食青果物納入事業協

構 成 ながさき西海農業協、佐世保青果協

佐世保市学校給食納入事業協

市教育委員会(コーディネーター)、

市農林水産部(アドバイザー)

主 催 者 学校給食会

議 題 地産地消の推進について

本協議会の目的は青果物の地産地消の推進ですが、具体的な項目として、「献立に地場産品を取り入れること」と「佐世保青果市場にできるだけ多くの地場産品の入荷を図ること」を定めており、「情報共有」と「関係者の協力」を本協議会の目標としています。

今回も活発な意見交換が行われ、本会から令和元年度における地元産の使用率等については、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度よりも約1.5%減少したとの報告を行いました。

また、市内産さつま芋の増産や、蓮根、冬瓜、いちご等の使用率の向上に向けた具体的な取組についての意見交換などが行われました。

会議の様子

